

編集後記

新型コロナの5類への移行と共存によるパラダイムシフトを迎え、皆様の教育・研究体制も平常を取り戻し始めていることと存じます。本号におきましても、精力的に論文等を投稿していただいた皆様並びに論文の査読を快く引き受けていただいた先生方に心から感謝申し上げます。

本号ではミニレビュー3編、原著論文1編並びに最近のトピックス1編の投稿をいただきました。ミニレビューでは、小児歯科学分野のBolortsetseg Dembereldor先生から、エナメル質再生研究の新展開が紹介されています。また、口腔臨床病理学分野のDedy Ariwansa先生からは、精神的ストレスが加齢変化に与える影響とそれらの口腔環境との関連性が概説されています。さらに、組織再建口腔外科学分野の島谷真梨先生からは、悪性腫瘍の骨破壊における破骨細胞とがん細胞の相互作用に関する最新の知見が紹介されています。原著論文では、口腔臨床病理学分野の森川哲郎先生から、ビールに含まれるホップが脂肪肝の抑制と口腔内においても脂肪が沈着しにくくなる細菌叢に変化させるというビール党としては何ともありがたい発見が報告されています。ただし、アルコールは摂食を増進しますので、ほどほどがよいでしょう。薬理学分野のRezon Yanuar先生からは β -arrestinを介するMAP kinaseの活性化に関わる新たな細胞内情報伝達機構が紹介されています。いずれも大変興味深い内容ですので、是非ご一読ください。

世界的にも、口腔・顔面領域の機能に関する研究成果の重要性は注目度が高く、それらは今回（2022年）のノーベル生理学・医学賞を受賞されたSvante Pääbo先生の言語機能形成に関わるFOXP2遺伝子の発見や前回（2021年）の同賞受賞のDavid Julius先生の辛みと痛みに共通する受容機構であるTRPチャンネル（TRPV1）の発見により、揺るぎないものになっています。皆様の研究活動におきましても新たなステージへの進展が訪れることを切に願っております。新年度42巻1号から編集長を微生物学分野教授の永野恵司先生にバトンタッチします。永野編集長にはペーパーレス化等の著しく変化する科学雑誌の最新の動向を織り込み、歯学会会員の研究マインドを刺激する斬新な企画を期待しております。歯学雑誌のさらなる充実に向けて、引き続きご支援ご協力を賜りますようどうかよろしくお願いいたします。（石井 記）

次号（第42巻、第1号）の発行は令和5年6月30日です。

投稿原稿募集の締め切りは令和5年3月31日必着と致します。期日厳守の上、ご投稿をお願いします。本誌投稿規定は、2022年第41巻、第2号の巻末をご参照ください。